

## 1 単元名 意見を共有しながら話し合う（第3学年）A話すこと・聞くこと

## 2 単元について

## (1) 生徒の実態

本学級の生徒は、これまで「一言でまとめ一言から広げる」「構成を考えて主張をまとめる」などの学習を通して、話すこと・聞くことにおける資質・能力を高めてきた。「一言でまとめ一言で広げる」の学習では、他者の意見をよく聞き、具体的な話を抽象的な言葉にまとめる力を身に付けた。また、「構成を考えて主張をまとめる」の学習では、話の構成を工夫することで、話に説得力をもたせ、伝えたいことを効果的に伝える力を身に付けた。そして、どちらの学習活動においても、グループの中で活発に話をしたり、互いの意見に耳を傾けたりする姿が多く表出していた。自分が話す内容を精査したり、聞いた内容を整理して解釈したりすることも概ねできる生徒が多い。

一方で、話し合い活動において、表のように苦手意識をもっている生徒が3分の1程度いる。その理由として、出た意見をまとめたり、それらを総括して結論を出したりすることが難しいと考えている生徒が多かった。このような生徒の実態を踏まえ、結論を出す活動に焦点を当て、生徒が主体的に話し合える授業デザインが必要であると考えた。

表 生徒の「話し合い」に関する実態調査（令和5年4月実施 第3学年1組生徒36人）

質問項目	得意	苦手
1 話し合い活動は得意ですか。苦手ですか。	25人	11人
2 話し合いをして、良かったと感じたのはどんな時ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをみんなに伝えられた時（5人）</li> <li>・自分の意見が話し合いを進めるきっかけとなった時（4人）</li> <li>・友達の意見を聞いて、自分の考えが広がった時（27人）</li> </ul>	
3 話し合いの中で、難しいと感じる時はどんな時ですか。（複数回答可）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見をまとめる時（10人）</li> <li>・意見を集約して、結論を出す時（17人）</li> <li>・みんなが納得のいく結論をだす時（9人）</li> </ul>	

## (2) 単元観

そこで、今回は「意見を共有して話し合う」という単元を設定し、生徒一人一人が課題について意見を持ち、話し合いを通してそれらの意見を共有しながら、合意形成を図って最適解を導き出す学習を行いたいと考えた。

情報化・グローバル化が急激に進む現代社会において、個人で考えることが重要であることはもちろん、他者の考えを取り入れ、それらの考えを結び付けながら新たな価値あるものを創造することが求められている。他者と話し合い、合意形成して結論を導き出す力を身に付けることは、これからの社会を豊かに生きる上で非常に重要なツールとなってくる。

このようなことから、これからの未来を担う生徒に、話し合いを通して新たな見方・考え方に会おう場を創り、協働して新たな価値を創り出す力を付けさせるために、本単元を設定した。

## (3) 指導観

そのため、指導にあたっては、まず生徒が「考えてみたい」「自分の意見を話してみたい」「話し合っていて友達の意見を聞きたい」といった学習への意欲が喚起される課題を提示する。本単元では、昨今話題となっている ChatGPT などに利用されている AI（人工知能）について、自身の生活や社会と関係付けながら話し合いを行えるようにする。また、AI の利用者としての立場を明確にすることで、話し合うための視点をもたせ、生徒一人一人が課題に対して自分の意見をもてるようにしたい。

次に、ロイロノートを活用することで、話し合いの中で出た意見や情報をつなげ、整理できるようにする。そのようにすることで、自分や他者の思考ひいては話し合いの内容を可視化できるようになり、合意形成を図り結論を出す上でも有効な手立てとなると考える。

また、話し合いの手引きを活用することで、話し合いの過程を捉えながら見通しをもって話し合いをしたり、合意形成の際に重点を置くことなどを生徒一人一人が考えたり共有したりできる手立てを講じていく。

### 3 単元の目標

- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。  
[知識及び技能] (2)ア
- 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。  
[思考力、判断力、表現力等] A(1)オ
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

### 4 単元の学びの価値とそれを実感させるための手立て

#### (1) 単元の学びの価値

## 意見を言ったり、他者の意見を聞いたりすることは発見だ

国語科が考える学びの価値は、「言葉を紡ぐって発見だ」である。国語科は言葉を扱う教科である。言葉はコミュニケーションを行う上で不可欠な物であり、それをどのように駆使するか、その方法を考えていくのが国語科である。言葉を紡ぐ、すなわち多様な形で言葉を用いながら、自分自身でハッと気付いたり、他者からハッと気付かされたりする瞬間が、国語科の学習の中で生まれて欲しいと考え、このように設定した。

そこで、本単元では、話し合い活動の中で自分の意見を形成し、それを伝えることで自己内での気づきが生まれたり、他者の意見を聞くことで考えが広がったり深まったりすることを学びの価値として実感してほしいと考える。また、合意形成において、それぞれの意見をつなぎ合わせて新たなものを創り出す過程においても、言葉における気づきが生まれハッと発見することを学びの価値とする。

#### (2) 単元の学びの価値を実感させるための手立て

##### ① 「話したい」「聞きたい」という意欲を喚起する題材や導入の工夫

話し合い活動において、生徒にとって「自分の考えを話したい」「他の意見を聞いてみたい」と思える題材を設定することで、生徒が主体的に活動に取り組めるようにする。本単元では「AIとの付き合い方」をテーマに、AIが社会でどのように進歩し、扱われてきているのかを踏まえた上で、AIの利用者としての立場をそれぞれ分け、立場を明確にしながらどのようにAIと付き合い合っていけばよいかについて話し合いができるようにする。そのような手立てを講じることで、生徒は視点を明確にもって主体的に話し合いに取り組み、話し合いの中で自分の意見を話すことや友達の意見を聞くことによる学びの価値を実感することができると思う。

##### ② 学習者が主体的に取り組めるような言語活動の工夫・ICT（ロイロノート）の活用

話し合いの内容や流れ、生徒の思考を可視化するために、本単元ではロイロノートを活用する。出た意見を入力し、関連する意見と意見をつなぎ合わせたり、入力するシートの色を変えて意見の種類を整理したりすることで、話し合いが可視化され、生徒が活発に思考し、より良い話し合いを行うことができるだろう。そのような工夫を行うことで、話し合いの中で自分の意見を明確にしたり、他者の意見を聞いて新たな発見をしたりすることで、生徒は話し合うことによる学びの価値を実感できると考える。

### 5 指導と評価計画（6時間扱い）

時間 次 時	○…評価規準【評価方法】	知 思 主 ・ 判 体 技 表 的	学習内容・活動	○指導上の留意点 ◎規準を実現するための手立て ★単元(題材)の学びの価値を実感させる手立て
1 1			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いの方法について確かめる。</li> <li>○ よりよい話し合いをするためにはどうすれば良いか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの学習を振り返ることで、よりよい話し合いの方法について考えを共有できるようにする。</li> </ul>

2・3			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題について、自分の意見をまとめる</li> <li>○ 課題を解決するために情報を集める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話合いの課題について、情報を集め、自分の意見をまとめられるようにする。</li> </ul>
4	<p>[知識・技能]</p> <p>① 情報と情報との関係について理解しながら整理し、意見をまとめているかの確認。</p> <p>【観察・ロイロノート】</p>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集めた情報を基にして、それぞれの立場ごとのグループで主張したい意見を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それぞれの職業・立場に分かれることで、話合いの立場や視点を明確にする。</li> <li>◎ グループで出た意見を、ロイロノートで整理し、意見と意見の関係を捉えられるようにする。</li> <li>★ ロイロノートを活用し、調べたことを分類したり、関連付けたりしてまとめることで、グループでの主張や根拠を明確にできるようにする。</li> </ul>
5 本時	<p>[思考・判断・表現]</p> <p>① 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしているかの確認。</p> <p>【観察・ロイロノート】</p>	①	<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">AIと社会について話し合い、それぞれの立場から意見を出し合おう。</div> <p>2 本時までには調べた情報や意見をグループごとに整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張を述べるために、調べた情報を関連付けられるようにする。</li> </ul> <p>3 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの立場ごとに意見を発表する。</li> <li>・出た意見について、それぞれの立場から質問や意見を言う。</li> </ul> <p>4 課題に対する結論を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出た意見の共通点や相違点を踏まえながら、合意形成を図る。</li> </ul> <p>5 本時の学習を通して学んだことや気付いたことを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の課題を確認するとともに、活動の流れを示し、生徒が見通しをもって活動できるようにする。</li> <li>○ 話し合いの準備として、前時までには集めた情報を整理したり、主張したい意見を確認したりできるようにする。</li> <li>○ 話し合いの流れや手順で困った時には、「話し合いの手引き」を確認することで、生徒が見通しをもって話し合いに取り組めるようにする。</li> <li>★ 立場を決めて話し合いを進めることで、視点を明確にして意見を言ったり聞いたりできるようにする。</li> <li>◎ 友達の発表を聞きながら、それぞれの考えの共通点と相違点に着目できるようにする。</li> <li>★ ロイロノートを使って、出た意見を整理することで、話し合いの内容を可視化し、生徒が考えをまとめやすくする。</li> </ul>

6	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>① 粘り強く、課題解決のために探究し、意見を言ったり他者の意見を生かしたりしながら、合意形成に向けて話し合いをしているかの確認</p> <p>【観察・ロイロノート】</p>		<p>○ 前時までの学習を振り返り、どんなことを学習したか学習班で話し合う。</p> <p>○ 話し合ったことをもとに、学習して身に付けた力や、学んだことをどのように生かしていきたいか考える。</p> <p>①</p>	<p>○ 本単元で学んだことを振り返り、どんな力が付いたか、学びをどのように生かしていきたいかを考えられるようにする。</p> <p>◎ 本単元で行った話し合い活動について、今後どのような場面で活用できそうか考える。</p>
---	--	--	---	--